

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	最先端研究開発戦略的強化費補助金		<b>担当部局庁</b>	研究振興局		<b>作成責任者</b>	学術企画室長 伊藤史恵		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度～		<b>担当課室</b>	振興企画課学術企画室					
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅹ-1 学術研究の振興					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、通知等</b>	新成長戦略(平成22年6月18閣議決定) 最先端研究開発戦略的強化事業運用基本方針 (平成22年4月27日総合科学技術会議決定)					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	世界をリードし、世界のトップを目指す研究開発を通じて、我が国の中長期的な国際競争力の強化等を目指す「最先端研究開発支援プログラム」を加速・強化する。また、グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションを中心に、基礎研究から出口を見据えた研究開発を行う最先端の研究設備の整備・運用に必要な支援を行うとともに、海外への若手研究者派遣の支援を行い、「頭脳循環」の実現による研究開発力の強化を図る。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	「最先端研究開発戦略的強化事業運用基本方針」(平成22年4月27日総合科学技術会議決定)に基づき、①最先端研究開発支援プログラムで決定された30課題の研究開発を一層加速・強化するために支援を行う「最先端研究開発支援プログラム加速・強化事業」、②最先端研究開発支援プログラム全体及び中心研究者・研究課題の研究内容を広く公開する活動に対して支援を行う「最先端研究開発支援プログラム公開活動」、③研究ポテンシャルが高い研究拠点において、最先端の研究成果の創出が期待できる設備を整備するとともに、運用に必要な支援を行う「最先端研究基盤事業」、④優れた国際共同研究に携わる若手研究者の海外派遣を支援する「頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム」を実施する。なお、本補助金は機関に対する定額補助になっている。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	40,000	17,500	10,050		
		補正予算	-	-	0	0			
		繰越し等	-	-	△ 22,933	22,933			
		計	-	-	17,067	40,433	10,050		
	執行額	-	-	17,063					
	執行率(%)	-	-	100.0%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	本施策においては、事業実施期間全体で成果を判断すべきであるため、現時点で達成度を定量的に示すのは困難である。		成果実績						
			達成度	%					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	平成22年度において、4プログラム、125件の課題に対して支援を行っている。		活動実績 (当初見込み)	課題	—	—	125	—	
						( )	28		
<b>単位当たりコスト</b>	136(百万円/課題)		算出根拠	単位当たりコスト =実施課題に対する平成22年度配分額(17,063-32=17,031百万円)/ 実施課題数(125課題)					
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	最先端研究基盤事業	17,300百万円	9,850百万円	対象事業の絞り込みに伴う減7,450百万円					
	最先端研究開発支援プログラム公開活動	200百万円	200百万円						
	計	17,500百万円	10,050百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・経費の執行に関しては、事業年度毎に実績報告書等において、支出先・用途を把握、補助金の使用状況や事業目的との整合性についての確認に努めている。</p> <p>・平成23年度においては、最先端研究基盤事業における新規採択の見送り、最先端研究開発支援プログラム加速・強化事業及び頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラムの見直しによる事業規模の縮減を行うことで、予算を縮減している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、将来における我が国の経済社会の基盤となる先端的な研究開発を推進するとともに、潜在的可能性を持った研究者に対する支援体制を強化する事業であり、独立行政法人向けの支出である。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き、事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業の重点化、コスト縮減等に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成23年度において事業規模の縮減を行うことで、予算の縮減を図ったところであるが、平成24年度においても最先端研究基盤事業における対象事業の精査を行うことにより、引き続き効果的・効率的な実施を目指した事業の重点化を行い、平成24年度概算要求に反映した。(▲2,927百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省  
17,063百万円

〔補助〕

〔総合科学技術会議(CSTP)の定めた運用基本方針のもと、最先端研究開発支援プログラムの加速・強化及び若手・女性研究者が活躍する研究基盤等の強化に対して支援〕

A: 最先端研究開発戦略的  
強化費補助金  
17,063百万円  
(独)日本学術振興会

〔補助金の交付・公募・審査に係る業務を実施〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

〔選定(CSTP)・間接補助〕    〔公募(CSTP)・間接補助〕    〔選定(文部科学省)・間接補助〕    〔公募・間接補助〕

B: 最先端研究開発支援  
プログラム加速・強化事業  
7,719百万円  
大学・独立行政法人等  
(全14機関)

〔最先端研究開発支援プログラムに採択されたiPS細胞再生医療応用プロジェクトなどの研究開発を一層加速・強化〕

C: 最先端研究開発支援  
プログラム公開活動  
254百万円  
大学・独立行政法人等  
(全11機関)

〔最先端研究開発支援プログラム全体及び中心研究者・研究課題の研究内容を広く公開する活動を実施〕

D: 最先端研究基盤事業  
8,219百万円  
大学・独立行政法人等  
(全17機関)

〔大型低温重力波望遠鏡などの最先端の研究成果の創出が期待できる設備を整備〕

E: 頭脳循環を活性化す  
る若手研究者海外派遣  
プログラム  
839百万円  
大学・独立行政法人等  
(全43機関)

〔優れた国際共同研究に携わる若手研究者の海外派遣を支援〕

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使  
 途の双方で実情  
 が分かるように  
 記載)

A.(独)日本学術振興会			E.東京大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	大学・独立行政法人等へ交付	17,031	設備備品費	研究設備等の購入	22
人件費	派遣職員雇用経費	10	事業推進費	消耗品費、通信・運搬費等	17
旅費	委員会出席旅費等	7	若手研究者派遣旅費	若手研究者を派遣するために必要な旅費	17
会場借料	会場使用料	5	旅費	上記若手研究者派遣旅費以外で補助事業の遂行するために必要な国内旅費、海外旅費	15
謝金等	委員手当、書面審査謝金等	4	謝金等	研究への協力謝金等	4
消耗品費	交付業務等に必要な消耗品の購入	2	事業管理経費	補助事業の管理に必要な消耗品費等	3
その他	通信運搬費、ホームページ作成、改修費等	4			
計		17,063	計		78
B.(独)科学技術振興機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	物品の購入等	1,655			
事業実施費	試薬分析、機器の開発等	358			
謝金・人件費等	研究者人件費等	101			
維持管理経費	研究設備等の維持・管理	43			
研究開発委託費	機器の開発・試作等の委託	30			
旅費	国内旅費、海外旅費	2			
計		2,189	計		0
C.(独)科学技術振興機構			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	国内旅費、海外旅費	15			
事業実施費	通信運搬費、会議費等	11			
会場借料	会場利用料、設備利用料	10			
印刷製本費	パンフレット印刷費等	9			
謝金・人件費等	公開活動の関係者に対する謝金等	6			
物品費	備品、消耗品等	1			
計		52	計		0
D.東京大学			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備整備費	研究設備の購入等	2,746			
物品費	物品の購入等	26			
謝金等	研究への協力謝金等	23			
旅費	国内旅費、海外旅費	9			
その他	雑役務費等	7			
計		2,811	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学術振興会	大学・独立行政法人等への補助金交付	17,063	-	-
2				-	-
3				-	-
4				-	-
5				-	-
6				-	-
7				-	-
8				-	-
9				-	-
10				-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)科学技術振興機構	原子分解能・ホログラフィー電子顕微鏡の開発とその応用 など4課題	2,189	-	-
2	京都大学	iPS 細胞再生医療応用プロジェクト	1,096	-	-
3	東京大学	日本発の「ほどよし信頼性工学」を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築 など5課題	984	-	-
4	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	Mega-ton Water System など2課題	693	-	-
5	北海道大学	持続的発展を見据えた「分子追跡放射線治療装置」の開発	440	-	-
6	東京工業大学	新超電導および関連機能物質の探索と産業用超電導線材の応用	433	-	-
7	(独)理化学研究所	強相関量子科学 など2課題	380	-	-
8	技術研究組合光電子融合基盤技術研究所	フォトニクス・エレクトロニクス融合システム基盤技術開発	380	-	-
9	大阪大学	免疫ダイナミズムの統合的理解と免疫制御法の確立	340	-	-
10	九州大学	スーパー有機ELデバイスとその革新的材料への挑戦	195	-	-
10	学校法人慶應義塾	世界最速プラスチック光ファイバーと高精細・大画面ディスプレイのためのフォトニクスポリマーが築くFace-to-Faceコミュニケーション産業の創出	195	-	-
10	分子動力学抗体創薬技術研究組合	がんの再発・転移を治療する多機能な分子設計抗体の実用化	195	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)科学技術研究機構	第1回最先端数理モデル国際シンポジウム(The 1st International Symposium on Innovative Mathematical Modelling) など3課題	50	-	-
2	(独)理化学研究所	Symposium on “Challenges to New Developments in Electron Microscopy” など3課題	45	-	-
3	株式会社コンベンションリサーチ	第1回分子追跡放射線治療国際会議(First International Conference on Real-time Tumor-tracking Radiation Therapy with 4D Molecular Imaging Technique)	28	-	-
4	筑波大学	健康長寿社会を支える最先端人支援技術研究開発プログラムの研究に関する国際拠点形成を視野に入れた情報発信および研究交流を促進するための国際会議	26	-	-
5	大阪大学	「DNAと関連分子の1分子解析に関する最先端研究開発」をテーマとした国際シンポジウム(International Symposium: Advanced Science and Technology for Single Molecular Analysis of DNA and related molecules) など2件	22	-	-
6	東京工業大学	新超電導体および卓越機能物質に関する国際ワークショップ(International Workshop on Novel Superconductors And Super Materials(NS22011))	19	-	-
7	(独)産業技術総合研究所	ナノテクノロジーをテーマとした国際シンポジウム	16	-	-
8	東京大学	第二回超小型衛星シンポジウム	14	-	-
9	学校法人慶應義塾	KPRI国際シンポジウム	14	-	-
10	東北大学	International Symposium on Microsystem Hetero-Integration	13	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	大型低温重力波望遠鏡の整備など5課題	2,811	-	-
2	(独)海洋研究開発機構	海底下実環境ラボの整備による地球科学-生命科学融合拠点の強化(「ちきゅう」を活用)	1,741	-	-
3	(独)理化学研究所	生命動態システム科学研究の推進 など3課題	806	-	-
4	(独)日本原子力研究開発機構	世界最先端研究用原子炉の高度利用による国際的研究開発拠点の整備-原子力研究開発テクノパークの創成- など2課題	755	-	-
5	大阪大学	生命動態システム科学研究の推進 など3課題	571	-	-
6	奈良先端科学技術大学院大学	低炭素社会実現に向けた植物研究の推進のための基盤整備	395	-	-
7	長崎大学	新興・再興感染症の克服に向けた研究環境整備	309	-	-
8	京都大学	低炭素社会実現に向けた植物研究の推進のための基盤整備 など4課題	243	-	-
9	自然科学研究機構	低炭素社会実現に向けた植物研究の推進のための基盤整備	210	-	-
10	北海道大学	新興・再興感染症の克服に向けた研究環境整備 など2課題	154	-	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	粘膜免疫学基盤型国際若手ネットワークによるアレルギー・感染症予防治療戦略の構築 など5課題	78	-	-
2	名古屋大学	NANTEN2による超広域分子雲観測と4基の天文観測衛星との連携研究 など5課題	65	-	-
3	学校法人慶應義塾	日英米を結ぶ先端医学分野における国際共同研究 など2課題	53	-	-
4	自然科学研究機構	植物リプログラミング研究におけるシステム生物学推進の国際研究ネットワーク形成 など2課題	46	-	-
5	筑波大学	生活習慣病発症メカニズムの解明と制御法開発を促進する国際共同研究プログラム など3課題	46	-	-
6	京都大学	ナノ材料科学若手国際交流プログラム など4課題	39	-	-
7	大阪大学	若手ホープの知の循環を通じた東アジアの多系的ネットワーク型国際秩序生成論の検証 など2課題	38	-	-
8	神戸大学	時空構造解明を目指すアトラス実験での若手研究者育成とネットワーク構築 など2課題	30	-	-
9	宮崎大学	人獣共通感染症および越境感染症制圧のための研究・人材育成ネットワークの構築 など2課題	30	-	-
10	(独)国立成育医療研究センター	システム医学のための国際ステーション構築とその稼働による再生医学と炎症性疾患研究	28	-	-

※ 補助事業